

平成 30 年度 広島県立呉特別支援学校 教育研究計画

教育研究部

1 研究テーマ

児童生徒が、自ら考え、学びたくなる授業づくり（二学次）
～ ルーブリックを活用した、学習評価を通して ～

2 テーマ設定に当たって

本校は、知的障害のある児童生徒を教育する特別支援学校である。近年では、発達障害を併せ有する児童生徒の在籍が増加傾向にあり、障害の多様化の傾向がみられる。卒業後、地域社会の一員として、児童生徒たちが、豊かに生きていくことができるよう、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導及び支援が求められる。また、小学部から在籍する児童生徒も多く、小学部から中学部、高等部までの継続的、系統的な内容や方法の指導の充実が必要である。平成 30 年度全県実施となる「広島県版『学びの変革』アクション・プラン」では「『資質・能力の育成を目指した主体的な学び』を促す教育活動を推進」しており、本校においても、児童生徒自身が能動的に考え、判断し、主体的に学びに取り組む力を育てることが重要である。

本校では、平成 28 年度に設定した、各学部における「目指す子供の姿」を引き出すため、平成 29 年度から「児童生徒が、自ら考え、学びたくなる授業づくり」の研究テーマのもと、研究を進めてきた。「資質・能力の要素を踏まえた授業評価を通して」と副題を設定し、児童生徒に育成すべき資質・能力を具体化し、それを意識した授業を日々行ってきた。

取組の 1 つとして、指導略案の自己評価記入欄の集計を行ったところ、教職員の授業における支援の手立てが向上し、児童生徒は授業の目標を概ね達成することができるようになった。しかし、その反面、「目標設定が低すぎた」との自己評価が年度末に向け増加した。また、年度末に実施したアンケートでは、目標設定や学習評価について「難しい」と感じている教職員が多いという結果となった。このことから、授業づくりにおいて、目標設定における妥当性の向上が課題となった。

そこで、目標設定の妥当性をさらに向上させるための取組として、学習評価に「※ルーブリック評価」を取り入れた取組を行うこととした。ルーブリック評価について教職員が学び、授業づくりに取り入れることで、授業における目標設定の妥当性を向上させ、適切な学習評価を行うことができる考えた。それにより児童生徒の主体的に学びに向かう姿を引出すことができると考え、このテーマを設定した。

※ルーブリック評価：

- 「学習者の達成度を示すための基準」
- 「いくつかの段階に分けて教育上の達成度の目安を記述して、学習者の達成度を判断する基準を示したものである。」
- 「ある教育内容を理解した上で、児童生徒の実態に合わせて、学習達成状況を把握することができる」
- 「児童生徒の学習達成度をみとる際に有効であり、毎時間ごとの児童生徒や教師の授業の反省を促し、さらには次の授業につながる補償教育を考える有効な手がかりとなる」
- 「複数の教師間で評価基準を共有できる」

2012年山口陽弘『教育評価におけるルーブリック作成のためのいくつかのヒントの提案
—— パフォーマンス評価とポートフォリオ評価に着目して——』より

3 研究仮説

ルーブリック評価を取り入れた学習評価を行うことで、児童生徒が「学びたくなる」授業となり、「自ら考える」、主体的な姿が引き出されるであろう。

4 取組

- 公開授業研究会 平成 31 年1月 26 日(土)予定
 - ・公開授業研究会事前協議会
- 授業研究グループ
 - (最大8名程度を目安に、原則担当教科を基に縦割りのグループを編成します。教育研究部がグループ編成し、教務部による年間指導計画や単元計画の評価・改善の話し合いも、本グループを利用して行います。)
 - ・年間を通した研修会等での協議
 - ・代表授業者の決定(各グループから一名)
 - ・授業研究グループ内での代表授業者の授業参観及び協議
 - ・年間指導計画の評価・改善(教務部)
 - ・グループを学部ごとに分けての、単元計画の評価・改善(教務部)
- 一人一回細案授業及び、授業終了後の協議
 - (ルーブリック評価表を取り入れた指導案様式)
- 各種研修会
 - ・平成 30 年度チャレンジサポート講座 全3回(広島県立教育センター)
 - ・障害特性に関する研修会
 - (知的障害・重複障害)
- その他

5 検証

- 授業自己評価週間(5月第1週, 7月第1週, 11月第5週)

指導略案の本時目標欄を活用した, 自己評価, 結果集計

- 授業研究グループ内での授業評価

授業研究グループ内での授業参観後に行う協議での授業評価

6 研究成果について

- 公開授業研究会にて研究のまとめの発表
- 研究紀要の発行及びホームページへの掲載

7 年間計画

日程	事項	内容
4月	平成30年度広島県立呉特別支援学校新転任者研修会 (新転任者対象)	今年度教育研究計画について
4月	平成30年度チャレンジサポート講座 事前訪問	
4月13日(金)	授業研究グループ会	・顔合わせ ・学部間連携 ・代表授業者決定(後日調整)
4月～6月	障害特性に係る基礎的研修会	知的障害について
	障害特性に係る基礎的研修会	重複障害について
5月上旬	第1回 チャレンジサポート講座	ルーブリック評価表について
第1回 チャレンジサポート講座終了後から11月中まで	一人一回細案授業及び, 授業終了後の協議	
第1回 チャレンジサポート講座終了後	一人一回授業参観(授業研究グループ代表授業)	
5月, 7月, 11月	授業自己評価週間	指導略案の目標設定欄を活用しての授業の振り返り
夏季休業中	授業研究グループ会(教務部)	年間指導計画の評価・改善
夏季休業中, 11月	学部での授業研究グループ会(教務部)	単元計画の評

		価・改善(学部)
8月上旬	第2回 チャレンジサポート講座	ルーブリック評価表について
12月上旬	第3回 チャレンジサポート講座	ルーブリック評価表について
12月	平成30年度 公開授業研究会事前協議会	
1月26日(土)	平成30年度 公開授業研究会	
2月～3月	研究紀要 発行	
3月下旬	平成31年度広島県立呉特別支援学校 教育研究計画説明会	次年度教育研究計画について